

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	昭和56年度～		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	04 公民館
事務事業名	03	中央公民館運営事業	
根拠法令・例規等	社会教育法20条		
担当課(室)	中央公民館		
職・氏名	館長代理 山口晋作		
電話	64-1133		
このシート作成に要した時間	5.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	公民館活動の認定団体、定期講座の参加者、文化協会
目的(何のために)	地域文化向上のため、学習の場と機会を提供する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	定期講座や文化祭の開催により、多くの人に自主学習に参加してもらう。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	中央公民館運営事業	文化事業の開催、各種団体等の連絡調整	
	文化協会活動補助金	備前・日生地域の文化協会に対する補助金	
	県公民館等振興会市町村負担金	公民館活動の発展と振興を目的に職員研修、情報交換等の事業を行うための団体の負担金	
	県文化連盟会費	県内の様々な分野の文化団体、文化協会の運営に携わる公益法人、地方自治体等からなる社団法人の会費	
	中央公民館運営審議会事業	館長の諮問に応じ各種事業の企画実施について、調査審議する。	
	市民講座	びぜんクラシックコンサート、花との出会い講座、ガラス細工講座などの定期講座を開催	
	文化祭	備前市美術展覧会及び各種展覧会、発表会を開催	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	1,095	1,109	1,628
	必要人員人件費	千円	0.55人	4,053	0.68人
	事業費計	千円	5,148	5,465	8,539
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	126	135	437
	繰入金債	千円			
その他()					
一般財源			5,022	5,330	8,102
受益者負担比率		%	2.4%	2.5%	5.1%
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	結果指標量	事業	712	544	487
	対前年比	%	55	76.4%	89.5%
	活動コスト	円	5,148,000	5,465,000	8,539,000
	単位当たりコスト	円	7,230	10,046	17,534
	説明	中央(備前地域)公民館講座の参加者数			

(平成22年度事業)

事業の成果		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
成果指標名	定期講座と文化事業観賞会の参加人数	目標値(A)	800	600	600	600
		実績値(B)	712	544	487	到達目標値
		達成率(B/A)	89.00%	90.67%	81.17%	600

中央公民館での主催講座における参加者数

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E>

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	文化祭のより一層の活性化を図るため、広報誌、市ホームページ等を活用して参加人数と出展点数を増やす。新たな中央公民館講座として「天然酵母のパン作り」を開設する。					

総合評価	5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>	C	A 妥当性 B 効率性 C 有効性 D 意図性 E 数値目標
------	---	------------	---	--

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	文化活動を推進するため、新規講座を開設する。また備前、日生、吉永の各文化協会の自立を進める。H23年度より認定団体及び文化協会から冷暖房費の電気代の徴収と減免規定の改正を行うこととなっていたが条例規則の大幅な改正が必要となり実施できていない。よってH24年度改正に向けて引き続き取り組んでいく。					